

# 環境アセス 最終報告まだなのに

打越 認 町長



**打越一**

3番議員

から時期を逸することなく、県に環境を踏まえた安全対策をさらにつよく求めいく必要があると思っている。そのためには、町としての姿勢を明らかにした上で、具体的な検討を進める中で、地元の不安をぶつけていくべきだと考え、態度表明をしました。

**Q** 産廃処分場について、議会全員協議会2月17日での容認とともに発言、環境アセスの最終報告はまだあってないが。

**A** 町長 現況調査については、県から昨年11月には中間報告がなされた。現時点でも周辺環境に影響を与えるような問題はないと言っているところである。当然、最終的な現況調査の結果は、いかはしつかりと判断するが、クローズド・無放流型の施設である以上、周辺環境に影響を与えるような状況はないものと考えている。また、環境アセスメントを終了すると、工事に向かった工程の段階に移るため、むしろそうなる前の段階

**Q** 処分場がまちづくりにつながればいい、この内容をお尋ねする。

**A** 町長 地元住民を犠牲にしてまちづくりをするのではなく、安全な施設であることを前

から時期を逸すことなく、県に環境を踏まえた安全対策をさらにつよく求めいく必要があると思っている。そのためには、町としての姿勢を明らかにした上で、具体的な検討を進める中で、地元の不安をぶつけていくべきだと考え、態度表明をしました。

**Q** 区長会で、3人位しか質問がなかつたので、区民の方の代表である区長さんが理解されると、前向きに判断されたのか、お尋ねする。

**A** 町長 区長会の中では村田副知事の丁寧な説明、50分間程度の説明でした。皆さん、真剣なまなざしで聞いておられたということから判断いたしまして、前向きではないかと判断した。

提として、地域と一体となつた処分場の整備が下体の役に立つものとなるよう、県に強く要望していきました。町としても所存である。町としてもその具体的な要望、

5年前の国勢調査との比較、また地方交付税とま

さんと一緒に今後検討していきたいと考えている。

**Q** 国勢調査が平成22年10月1日に実施され、最近この速報値が出

た。

人口の1万1,203人から648人減少してい

る。地方交付税の影響については、基準財政需要額の項目別に消防費、公

園費、下水道費、土木費、教育費、社会福祉費、保健衛生費、清掃費、地域振興費などに影響すると思っている。試算は、その額は7,500万円程度と見込んでいる。昨年、住んでよかつたプロジェクト推進事業費8,800万円、地方交付税額は約20億円ということを策定をしていた。今年策定している財政計画では、その住んでよかつたプロジェクト推進事業費は約1億円、23年度分の地方交付税で、1億1,600万円程度増額といふことで算定をしており、この計画については、それほど影響はないといふふうに見込んでいる。

ちづくりへの影響はどう考えるか。

**A** 総務課長 当町の人口は、10月1日現在、1万555人。5年前の人口の1万1,203人から648人減少してい

る。

人口の1万1,203人から648人減少してい

る。地方交付税の影響については、基準財政需要額の項目別に消防費、公

園費、下水道費、土木費、教育費、社会福祉費、保健衛生費、清掃費、地域振興費などに影響すると思っている。試算は、その額は7,500万円程度と見込んでいる。昨年、住んでよかつたプロジェクト推進事業費8,800万円、地方交付税額は約20億円ということを策定をしていた。今年策定している財政計画では、その住んでよかつたプロジェクト推進事業費は約1億円、23年度分の地方交付税で、1億1,600万円程度増額といふふうに見込んでいる。



ことここで算定をしており、この計画については、それほど影響はないといふふうに見込んでいる。



境田敏高

2番議員



## 南関町発注工事の対応について 産廃処分場建設容認について

境田

**Q** 今年の4月1日から、熊本県暴力団排除条例が施行され、県発注工事に携わる全ての業者は、契約の際、自らが暴力団等でない旨の誓約書を提出することになったが、町の対応はどのように考へているか。

**A** 町長 暴力団の影響から県民等を守るために、県が発注する建設工事は、下請や資材納入等においても、暴力団または暴力団と密接な関係者との契約をしてはならないと規定している。違反者には罰則規定も設けられている。

南関町の発注工事も同等の条例を制定しなければならないと考えてい

**Q** 先の見えない現在、地元業者の育成は重要な課題と思うが、どのように取組むか。

**A** 総務課長 町内業者で施行可能で、競争性も確保されるものは町内業者のみの指名選定を行っている。経営基盤の強化を図り、地域経

済の発展に寄与して頂きたい。また、昨年11月から、町が発注する小規模建設工事や修繕についても、小規模事業者を積極的に活用し、受注機会の拡大と町内経済の活性化を図る目的で南関町小

**Q** 産廃処分場建設容認について、県からの要な課題と思うが、どの手手続きの結果を踏まえよう上で判断すると言われたが、未だアセスも終わっていない状況で容認を決めたのは、矛盾していないか。一気に傾いた経緯を問う。

**A** 町長 昨年9月のク

ローズド無放流型の発表、11月、知事の現地入り説明会、12月には知事名の公文書による回答

と、県の意志が変わらない限り、新たな展望が見えず、中立姿勢のままでは下坂下の将来像の論議も進められない。町政を預かる者として、県から安全対策等の具体的な約束を取り付けていく時期に来たと判断し、5年間、考えに考え抜いてきた結論として正式に表明した。

**A** 町長 施設の詳細検討を始める過程で、県から具体的な約束事を取り付けていけば、住民の安心感を得られるものと考えている。諸手を挙げて賛成するものではない。住民の苦渋の思いと、引き続き丁寧に、誠意をもって説明を行うよう強く県に伝えたい。

酒見

# 真剣に農業振興策を

## 誘致企業等と一体で 六次産業等の模索

経済課長



## 酒見喬

11番議員

**A** 経済課長 担当課としても町の農産物及び加工品の生産並びに販売などに関するいろいろ模索しながらやっている。誘致企等も伸びている。

**A** いつの時代も農業者にとって自然相手の職業ゆえに、一番大切な仕事をしている割には低所得に我慢させられ、安定しない政治に振り回されている現状にある。高齢化と共に農地の荒廃も進んでいる。そのような中ではあるが農業に頑張つておられる若者や、認定農業者の方々もいる。厳しい現況ではあるが少しでも所得向上に行政としてお手伝いするなり町独自のブランド化の推進などできぬいか。



**A** まちづくり推進課長 町としては「住んでよかつたプロジェクト推進計画」の中で宅配サービス事業を検討している。またお年寄りでも簡単に操作できるタッチパネル式の器具等も開発されている。光ブロードバンドの整備も進んでいる

**Q** 日常の生活に欠かせない買い物に困るお年寄りや体の不自由な方々のことを買い物難民や買い物弱者と言われていて全国で600万人を越すと言われる。その対策はどのように考えるか。

**Q** 「買い物難民対策は」

の環境保全や住環境の改善を図つているが、下水道へ80%を目指してい在54・1%だ。同時に合併浄化槽の排水についても側溝の整備などを進めでゆきたい。



公共下水道については着実に加入率の推進を図り、收支のバランスを常に考えていくこと

ので、そのようなことを含め取り組んでゆきたい。

**A** 建設課長 地域経済の活性化及び公共水域

**Q** 下水道、合併浄化槽等の維持管理費用は原則的には負担金や使用料等で賄うのが理想とするものだが、まだ建設途中でもあり一般会計から持ち出しが多くなっている。現況の加入率と将来の見通しはどうか。

業等と一緒にした六次産業等の模索も始めている。白大豆や黒大豆などを原料とした甘納豆など加工販売の話も来ており町の特產品にできないかと前向きに進めている。また、耕作放棄地解消に焼酎の原料となる万次郎カボチャの生産も有力視されているので普及を図つてゆきたい。



田口 浩

5番議員

# 路線バス廃止の対応は?

田口

**Q** 関外目地区と八田一  
杉本間の路線バス廃  
止による住民の交通手段  
をどう考えるか。

**A** 町長 山鹿・瀬高  
間は平成18年3月に  
産交バスに移行された  
が、みやま市が補助金を  
打ち切った為に、山鹿・  
南関間となつた。地域の  
皆様には迷惑をかけてい  
るが、今後「住んでよ  
かつたプロジェクト推進  
計画」を推進し、高齢者  
移送サービスにつとめた  
い。

**A** まちづくり推進課長  
高齢者移送サービス  
事業と巡回福祉バスの運  
行事業があり、巡回福祉  
バスは月・水・金の3日  
間が坂下・四ツ原・賢木  
各地区を火・木・土曜日  
は大原、南関各地区と分  
けで運行を行つてている。

今回計画している乗り  
合いタクシー業務はデマ  
ンドタクシーと言つて民  
間タクシー会社を利用さ  
れる高齢者やお客様が予  
約されますとどこへでも  
搬送してもらえて料金の  
半額は町が補助するとい  
うシステムで計画してい  
ます。

**Q** 次に子育て支援セン  
ターの今後の取り組  
みについて

表14名で策定委員の方々  
で平成22年度から平成26  
年度の5年間で南関町次  
町では町内関係機関代



**Q** 定住促進住宅に關  
し、町でどのように  
考へておられるか。

**A** 町長 将来的には  
新しい住宅分譲地の  
開発も必要だが、まずは  
町有地の有効活用と空き

等を検討していきたい。  
これによつて今後運営  
を策定している。



又、新年度から計画し  
ている空き家バンク制度  
につきましては調査もか  
なり進んでおり、既に町  
外の子育て世帯の方から  
問い合わせがあつてている状  
況である。

# 自ら約束を破った町長 関係地域住民の安全、 誰が守るのか

唐杉



唐杉純夫

10番議員

**Q** 町長は、昨年12月議会で、私の質問に対しても、次のように言っておられる。住民の方々からは、大変厳しい建設反対の声や、環境に対する不安の声が寄せられていることに変わりはない、新しいクローズド無放流型の提案によって、住民の不安が完全に取り除かれたとの状況には至っていないと認識をしている。また、県下どこかには必要ということであれば、住民の理解が得られるよう、一つ一つ丁寧に誠意をもって説明を重ねるよう、県に対して、さらに強く求めていきたいと、このように言っておられる。どこかに必要ということは、南関町以外のところも、視野に入れて考

えて、県にもよく納得のいくように話を進めていくといきたいと、この12月議会での答弁は、このように町長自ら言つておられる。これはいわば南関全町民に対する約束事である。そういう中で変わったことと言えば12月末に村田副知事が来られただけである。たつたそれだけでも容認なのか。理解できない

**A** 町長 昨年12月24日 付けの知事名の回答 文書は、いま考えられる最大限の知恵と技術を活かし、極限までの施設の安全性を追求し、子や孫の代まで現在の素晴らしい環境を引き継ぐことは知事としての責務である。それがまさに公共関与により建設する意義であるという内容だった。今後、熊本県としては責任をもつて丁寧に住民の方々に説明をすることをおられる。そしておられる。



てまた、私としても、このまま方向が決まらぬままにおつても、地域の方に大変ご迷惑をかけ、住民の皆様方にもご心配をかけるので決断をしたところである。

**Q** さきほど産廃設備が全国各地で稼働している。だから、もうその稼働状況を見て、安全だと判断したと言われた。いま、産業廃棄物施設というのは、稼働は何年たっているだろうか。そ

**A** 町長 これは聞いてのことである。

**Q** 町長は県の代弁者か。あなたは南関町の代表じゃないのか。県が言うから、県が言うから、県が言うだけである。非常に残念で悲しいことだ。もう少し自分で勉強して、そして胸を張つて言われるのならまだしも、それがないではないか。今から県は住民と話し合いを進めようとしている段階である。県は眞面目に南関の町民のことを思つて、いまから一生懸命やる。区長会にも県主催で話ををして、町民レベルでじつくりと話をする約束したのを覚えている

か。

**A** 町長 これについては、県の方からこういうことはないということをお聞きしているので、専門的な立場で検討された結果を私が聞いてのことである。

**Q** 町長は県の代弁者か。あなたは南関町の代表じゃないのか。県が言うから、県が言うから、県が言うだけである。非常に残念で悲しいことだ。もう少し自分で勉強して、そして胸を張つて言われるのならまだしも、それがないではないか。今から県は住民と話し合いを進めようとしている段階である。県は眞面目に南関の町民のことを思つて、いまから一生懸命やる。区長会にも県主催で話ををして、町民レベルでじつくりと話すると約束したのを覚えている

南関町議会議員の報酬、南関町長等の給与、集会所設置及び管理に関する条例の一部改正、南関町国民健康保険税条例の改正、南関町定住促進住宅整備改修費基金条例制定、南関町土木工事費補助条例制定、南関町過疎地域自立促進計画の変更、指定管理者の指定、平成22年度南関町一般会計補正予算、平成22年度南関町各特別会計の補正予算、町道の路線廃止・認定・変更等、議案第9号から40号までの32議案と各委員会の報告（陳情付託の件）について審議され、全議案が承認議決されました。この中で、議会議員の報酬については賛否が別れ、質疑、討論の後、採決となり、賛成7・反対4で議決されました。

## 3月議会定例会

### 産廃処分場建設受け入れ容認



ていない。②県の説明は信じられない、町の表明は勇み足で、今後、県の説明・対応が不足してくる。③環境アセス、全地区的住民懇談会終了後に判断すべき。といった意見が出された。今後、議会としての方向性は、更なる安全性の追求・強化策、将来にわたる県の確約、地域振興策についてしっかりと議論していくことであろう。

10番議員の言動を戒めるとして、全員協議会（2月17日）の議論内容を自分の発行する機関紙に“号外”と称し、自分勝手な注釈をつけて町内に配布した行為と、3月11日の一般質問における発言の中で、品位にかける無礼な発言があったとして、厳重なる注意を求めるという動議があり、当事者以外の全議員が賛成した。

### 議員発言に伴う緊急動議

### 地震規模はM9.0、津波は10m以上

記録しました。太平洋沿岸の広範囲に大津波が押し寄せ、死者、行方不明者は26,299人（4月25日現在）という未曾有の大災害が発生しました。避難生活を強いられる人は、16都県で約25万人に上っています。

南関町としては3月28日の臨時議会で1,000万円の義援金を送ることを議決しました。菊池市、玉名市、和水町、玉東町の近隣市町も義援金を送ることを議決しています。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災者の方たちに心からお見舞いを申し上げます。

### 議会だより[山郷]に 掲載する記事の募集

の紹介、エッセイ、随筆、南関町を詠んだ俳句、短歌、書画、南関町に因んだものであれば何でも結構です。ご意見箱と併せてよろしくお願いします。

広報委員会では、町民の皆様からの記事を募集します。地区の名所、旧跡、祭りや習慣・伝統、歴史、文化、教育、郷土料理



# 議会日誌

2~4月

主なものを載せています

- 2月3日 広報調査特別委員会  
 7日 広報調査特別委員会  
 15日 町村新議員研修会(熊本市)  
 17日 全員協議会  
 28日 総務文教常任委員会  
 3月1日 議会運営委員会  
 3日 議員意見聴取会  
 (産廃問題、議員報酬等)  
 9日 }  
 ~16日 } 3月定例議会  
 28日 全員協議会、議会臨時会  
 4月7日 広報調査特別委員会  
 14日 広報調査特別委員会  
 21日 総務文教常任委員会  
 22日 } 産業厚生常任委員会  
 ~23日 } (産廃処分場視察研修)  
 25日 広報調査特別委員会  
 26日 民営化問題調査特別委員会

## Topic! 大津山山頂の見晴らし確保



山頂の樹木が伐採整備され、すばらしい見晴らしとなりました。緑の盆地の中に、南北に縦断する高速道、小学校、御茶屋跡、関町一帯と見渡せます。遠くに三池山、小岱山、雲仙が望め、有明海も覗いています。地震、津波、洪水といった災害も無く、改めて、自然に恵まれたいい町だなあと思います。これを当たり前と思わず、常に感謝の気持ちを忘れないようにしたいものです。私たちの町は高齢化が進行しています。これからは健康をキーワードとして暮らすことが大切になるでしょう。山頂からの眺めはすばらしいものです。健康づくりに登山は如何でしょうか。手ごろな山であり、井弥原溜池方面から登れば途中の桜、つつじの花も楽しめます。



議長	編集責任者				
	委員長	副委員長	委員	委員	委員
本田 真二	境 鶴 田 井 打	田 地 口 下 越	敏 忠 潤	高 仁 浩 俊 一	

（井下）  
 広報調査特別委員会として、私たち5名が議会だより「山郷」を発行することになり早や一年が過ぎました。昨年8月に東京、11月には熊本での研修会に参加して他町村の議会だよりを参考しながら文章構成・写真のレイアウトなど勉強しました。議会内容をより解り易く伝えるためにはどうしたらいいかを念頭におき、また、質問・答弁の内容が正しく伝えられているかという事に気を配りながら校正・打ち合せをして発行してきました。今後は、皆様にもコメントなどを通じて「山郷」に参加して頂き、親しみのある、読みやすい議会だよりを目指していきます。また、本号から一般質問の内容については、各議員より提出された原稿のまま掲載します。これからもよろしくお願ひします。

トライアゴル

編集後記

